

●手賀沼水面鳥類センサス結果

調査日:2012年12月14日、2013年1月10日、2月15日(9:00~12:00)

科名	種名	個体数 (12月)	(1月)	(2月)
カモ	コバクチョウ	60	51	37
	オオバクチョウ	0	0	10
	オカヨシガモ	11	6	0
	ヒドリガモ	13	6	5
	マガモ	2	27	106
	カルガモ	63	86	344
	オナガガモ	244	214	255
	コガモ	369	188	478
	ホシハジロ	0	0	3
	キンクロハジロ	0	1	0
	ミコアイサ	15	15	11
カイツブリ	カイツブリ	42	15	37
	カンムリカイツブリ	35	19	29
	ハジロカイツブリ	4	0	0
ウ	カワウ	70	20	64
サギ	アオサギ	19	6	11
	ダイサギ	5	7	5
	コサギ	38	23	9
クイナ	バン	0	1	2
	オオバン	93	106	80
シギ	タシギ	1	0	0
	イソシギ	2	0	0
カモメ	ユリカモメ	67	57	15
	セグロカモメ	1	3	7
ミサゴ	クロハラアジサシ	1	0	0
	ミサゴ	2	1	2
タカ	トビ	0	0	0
	チュウヒ	1	0	0
	ノスリ	0	1	1
カワセミ	カワセミ	7	7	2
カラス	ハシボソガラス	36	0	2
	ハシブトガラス	7	10	1
ムクドリ	ムクドリ	0	0	4
セキレイ	セグロセキレイ	1	0	0
家禽や外来種	アヒル	2	1	2
	バリケン	2	0	2
	ドバト	0	0	14
合計	34種	1213	871	1538

●岡発戸の谷津田鳥類センサス結果

調査日:2012年12月20日、2013年1月23日、2月14日(9:00~12:00)

科名	種名	個体数 (12月)	(1月)	(2月)
キジ	キジ	0	2	3
	キジバト	4	0	2
ウ	カワウ	1	0	0
	アオサギ	1	0	0
サギ	ダイサギ	1	0	0
	コサギ	3	1	1
タカ	ノスリ	0	0	1
	ハイタカ	1	1	0
キツツキ	ハイタカ属s.p.	0	0	1
	コゲラ	3	6	3
モズ	モズ	5	5	5
カラス	ハシボソガラス	5	5	7
	ハシブトガラス	9	7	5
メジロ	メジロ	26	28	11
キクイダタキ	キクイダタキ	0	1	0
シジュウカラ	ヤマガラ	0	3	5
	ヒガラ	0	0	4
ヒヨドリ	シジュウカラ	13	27	21
	ヒヨドリ	93	27	11
ウグイス	ウグイス	7	8	6
エナガ	エナガ	0	3	15
ムクドリ	ムクドリ	0	4	16
ヒタキ	シロハラ	0	1	1
	アカハラ	1	0	2
	ツグミ	4	16	17
	ルリビタキ	0	0	1
スズメ	ジョウビタキ	2	6	5
	ヒタキ科s.p.	5	4	4
セキレイ	スズメ	17	3	39
	キセキレイ	2	0	0
	ハクセキレイ	4	6	3
	セグロセキレイ	2	2	1
アトリ	ピンズイ	0	1	1
	カワラヒワ	56	6	2
	ベニマシコ	0	0	1
	ウソ	0	0	4
ホオジロ	シメ	9	14	15
	ホオジロ	23	17	26
	カシラダカ	39	10	20
	アオジ	19	72	51
合計	38種	355	288	310

あびこ鳥だより

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.33

Spring
2013
【春号】



<目次>

特集ページ・・・・・・・・・・ 2
 ・田んぼの鳥を調べてみたら
 ～田んぼの鳥類センサス結果～

最新情報・・・・・・・・・・ 3
 ・企画展「身近な鳥 我孫子の鳥を調べてみたら」開催中!
 ・手賀沼定例探鳥会「てがたん」年間テーマのご案内

イベント情報・・・・・・・・・・ 3

我孫子市鳥類調査結果・・ 4

利用案内

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
館内整理日、年末年始(12/29~31、1/1~4)

●入館料

区分	個人	団体(20名以上)
一般	300円	240円
高校生、大学生	200円	160円
小・中学生	免除	免除

*70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方(付き添い1名含む)は入館料が免除されます

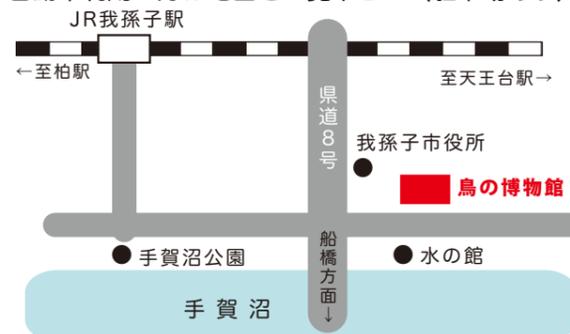
●お問い合わせ:我孫子市鳥の博物館

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山234-3
 ☎:04-7185-2212 FAX:04-7185-0639
 ホームページ: <http://www.bird-mus.abiko.chiba.jp/>

交通案内

- 電車とバス利用
JR 我孫子駅下車、我孫子駅南口バス停より市役所経由バスで「市役所」下車、徒歩5分
*毎週土日祝日は博物館行きのバスが運行しています
我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館」下車
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館」下車

●自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場あり)



表紙の鳥 ダイサギ

「我孫子の田んぼを調べてみたら」～田んぼの鳥類センサス結果～

博物館では企画展「身近な鳥～我孫子の鳥を調べてみたら～」を開催しています。我孫子市は斜面が多く、高台から住宅地→斜面林→田んぼ・畑→手賀沼と連続的に環境が変化しているのが特徴です。博物館では各環境の鳥相を把握するために、鳥類調査を行っています。今回はその中の田んぼの調査結果をご紹介します。

調査地は手賀沼と利根川をつなぐ手賀川に沿った幅約1500mの田んぼです。調査地は昭和30年頃まで手賀沼の一部でした。戦後の食料の生産増加と水害防止のために干拓された土地で、近くには排水施設もあり、干拓の歴史を感じさせます。我孫子の中でも面積が大きい田んぼで、過去にヒシクイやウスハイイロチュウヒなどが見られ、おもしろい観察スポットです。月に1度、約2000mの観察ルート歩いて、観察した鳥を記録します。観察範囲は約44haです。



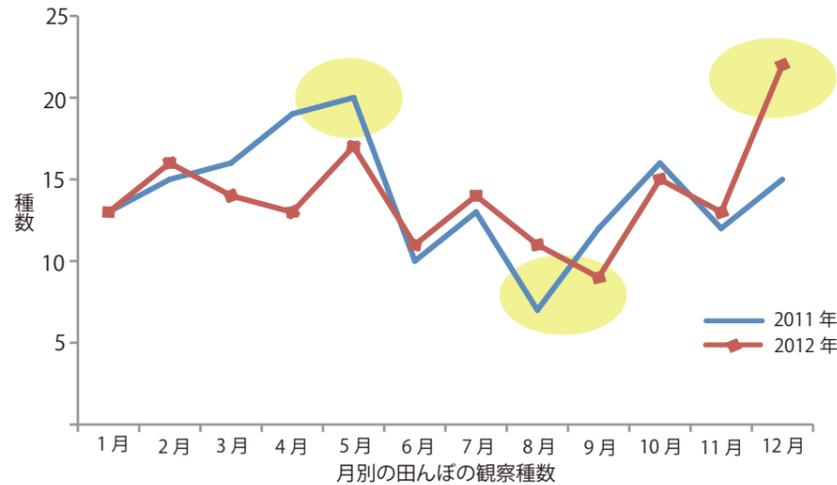
調査地の春の様子

鳥の種数は春と冬に増える

2011～2012年に田んぼで観察した鳥の種数は、春と冬に増え、鳥の子育ての季節である夏に少なくなりました。また観察した鳥の個体数は冬に最も多くなりました。

春は田んぼに水が張られる季節で、稲苗の背丈もまだ低く、開けた湿地を好む渡り鳥のシギ・チドリにとってよい餌場になります。水辺の留鳥と渡り鳥が集まることで、春は種数が増えます。

それに対し、水抜きをして乾燥した冬の田んぼは、開けた荒地のような環境になり、収穫後の落ち穂を食べるスズメやカワラヒワ、タヒバリなどが集まります。またカラスの仲間もよく見られ、群れる鳥たちで冬はにぎやかになります。



田んぼの主役！ヒバリ



さえざるヒバリ

春の田んぼ空高くピチュピチュと賑やかにさえざるヒバリは、春だけでなく1年を通して田んぼの「主役」でもあります。過去の調査結果から観察した個体数が多い種（優占種）を調べてみると、ヒバリはすべての年で一番多く観察されています（下表）。

ヒバリは1年の中で冬に最も観察個体数が増えています。ヒバリ以外の優占種も冬に個体数が増える傾向があります。優占種の特徴としては、地面で餌を探すと群れをつくりやすいことなどがあげられます。冬の乾燥して開けた田んぼは、ぴったりの生息地です。

1993年		1994年		1995年		2011年		2012年	
ヒバリ	404	ヒバリ	334	ヒバリ	431	ヒバリ	312	ヒバリ	418
スズメ	300	タヒバリ	106	ハシボソガラス	174	カワラヒワ	277	スズメ	224
カワラヒワ	167	スズメ	93	ツグミ	127	スズメ	231	カワラヒワ	160
ムナグロ	95	ツグミ	81	ツバメ	114	ハシボソガラス	174	タヒバリ	128
タヒバリ	75	ハシボソガラス	79	スズメ	109	タヒバリ	107	ハシボソガラス	54

各調査年の優占種ベスト5（個体数）

消えたムナグロ・・・

春と秋に渡りをする多くのシギ・チドリにとって水が張られた田んぼは餌場として、近年減っている干潟の代りの役割を果たしています。しかし6年前までの調査に比べ、この2年間の調査で、その観察数は大きく減っています。特にムナグロはチドリ科の中でも田んぼを餌場として好んで利用する鳥のひとつで、1993年の調査では優占種の一つでしたが、近年は数羽しか観察されていません。



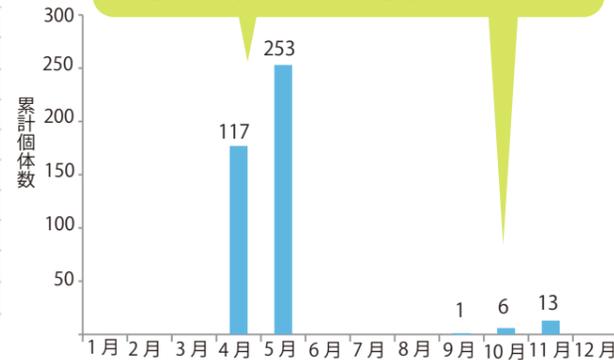
夏羽のムナグロ

	1993年	2011年	2012年
コチドリ	3	0	3
ムナグロ	95	5	0
タケリ	19	18	2
キョウジョシギ	30	11	0
トウネン	2	0	0
キアシシギ	2	0	0
チュウシャクシギ	7	2	0
タシギ	1	2	4
合計(個体)	159	38	9

シギ・チドリの観察個体数の比較

この調査地ではムナグロのほとんどが春に観察されています。秋の渡りの時期は、田んぼは乾燥し、餌場として不向きな環境になるためです。

千葉県では越冬するムナグロも見られますが、近年、個体数は減りつつあり、千葉県はその対策として餌場である田んぼや草地など湿地の保全をあげています。



ムナグロの月別の累計観察個体数*

*1988～1989年、1992～1995年、2011～2012年の計7年間の調査データより

企画展「身近な鳥～我孫子の鳥を調べてみたら～」開催中！

鳥は、人と同じ視覚の動物です。よく鳴き、空を飛ぶので、私たちの目に触れることが多く、身近な存在です。また、移動能力にすぐれ、生活に有利な環境を選んで暮らすことができるので、環境の変化にいち早く反応します。このため、鳥の生息状況は、私たちが住んでいる自然環境のバロメーターになります。

このような観点から、鳥を生物指標としたモニタリング調査が各地で行われています。鳥の博物館では、開館以来、我孫子市周辺の鳥類の生息状況を調査し続けてきました。

今回の企画展では、この結果とともに、各地で行われている市民参加の調査やその成果も合わせて紹介します。

鳥の生息状況から読み取ることができる、環境の変化について、一緒に考えてみませんか？

第65回企画展「身近な鳥～我孫子の鳥を調べてみたら」

開催期間：平成25年2/9（土）～6/30（日）



手賀沼定例探鳥会「てがたん」年間テーマのご案内

「てがたん」は毎月第2土曜日の午前中に開催している、鳥の博物館の探鳥会です。鳥だけでなく、花や昆虫など季節に合わせたテーマを決め、身近な自然を楽しんでいます。散歩感覚で参加できる探鳥会です。ぜひ参加してみませんか？



実施日	テーマ
4/13（土）	「桜に集う鳥」
5/11（土）	「鳥のさえざりと子育て」
6/8（土）	「田んぼの生き物」
7/13（土）	「斜面林～水辺の生き物比べ」
8/10（土）	「手賀沼の生き物」
9/14（土）	「バッタと秋の花」
10/12（土）	「鳥の渡りとモズの高鳴き」
11/9（土）	「木の実・草の実」
12/14（土）	「声でさがす冬の鳥」
2014.1/11（土）	「カモいろいろ」
2014.2/8（土）	「冬越しする生き物」
2014.3/8（土）	「春を探そう」

イベント情報

●自然観察会*

○てがたん～手賀沼定例探鳥会～

時間：毎月第2土曜日 10:00～12:00
集合場所：博物館玄関（予約不要）

○河原の鳥を観察しよう

日時：6/15（土）9:00～12:00
観察場所：利根川ゆうゆう公園
対象：小学生以上（小学生は保護者同伴で参加可）
定員：30名

申込み：受付開始は6月1日より
詳細は広報あびこ6月1日号または博物館のホームページに掲載されます

*自然観察会は高校生以上の方は保険料100円が必要です
*館内イベントは参加無料でも入館料が必要です

●工作教室

2013年4月～6月

○飛べ！鳥の紙ひこうき

日時：5月3日（金・祝）13:30～15:30
集合場所：手賀沼親水広場 水の館3階研修室
対象：小学生以上（小学生未満は保護者同伴で参加可）
定員：先着20名（要電話予約）
申込み：我孫子市鳥の博物館 04-7185-2212
*4月16日より申込み受付開始

●講演・座談会*

○テーマトーク

時間：毎月第2土曜日 13:15～14:00
場所：博物館多目的ホール
定員：先着50名（参加無料）
講師：山階鳥類研究所所員

引用・参考文献：斉藤安行ほか 1992-1995. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告 i-v. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告, 1-5
千葉県レッドデータブック改訂委員会 2011. 千葉県の保護上重要な生物. 千葉県環境生活部自然保護課.
農林水産省農業環境技術研究所 1998. 水田生態系における生物多様性. 養賢堂.